

『ハチ物語』

豊岡市

咲花 篤子

「ハチ」雄犬、推定年令5歳。1990年2月兵庫県城崎郡の佐津という海辺の小さな集落に捨てられていました。「ハチ」の頭部には交通事故の生々しい傷跡があります。頭頂部の骨がコブのように隆起しています。その上、下アゴが左から右にゆがんでクチのかみ合わせがずれていました。下アゴの骨が縦2つに割れたままになっていたので、頭を振るとカタカタと骨の鳴る音がしました。また左耳下からクチにかけて5cm程の傷もあり、下前歯の右半分はそぎ取られて欠けています。

「ハチ」は人なつこいけれど、決して人に媚びない性格を持っています。「ハチ」を見ているとプライドをもっているように思えません。家を無くし交通事故に遭いながらもかろうじて生きてきた「ハチ」でしたが、ついに保健所が捕獲に来ることになったので